

参加費無料・申込不要  
どなたでもご参加いただけます！

# 写真が語る いのちのバトンリレー

～看取り、在宅医療、地域まるごとケアの現場から～

平成 31 年 3 月 17 日 (日)

13:30～15:30

庄原市ふれあいセンターコパリホール (庄原市西本町四丁目 5-26)

講師：國森康弘さん (写真家、ジャーナリスト)



自分がいつか死ぬときどんな「旅立ち」を迎えたいか。大切な人たちがいつか死ぬとき、どんなふうに見送ってあげられるか。そのことをふだんから考え話し合うことは、悲しいことでもあるけれど、とても大切な準備です。

講師著書 写真絵本

『いのちつぐ「みとりびと」

恋ちゃんはじめでの看取り』より

## 講師略歴

京都大学大学院修了。神戸新聞記者を経て、イラク戦争を機にフォトジャーナリストとして独立。2006年、イギリス・カーディフ大学ジャーナリズム学部修士課程修了。

世界の紛争地や経済貧困地域を訪れて取材。近年は、「あたたかで幸せな生死を伝えたい」と、滋賀県東近江市永源寺地域をはじめ、滋賀や東北被災地、東京などで看取り、在宅医療、地域包括ケアの撮影に力を入れている。

講演の前に、庄原版終活ノート「いきかたノート～私からあなたへ～」の紹介を行います。



あたたかな看取りについて、写真とお話で伝えていただきます！

主催：庄原市

後援：庄原市医師会、庄原市歯科医師会、庄原市介護支援専門員連絡協議会、庄原市自治振興区連合会、庄原市民生委員児童委員協議会、庄原市老人クラブ連合会、庄原市社会福祉協議会

問合せ：庄原市生活福祉部高齢者福祉課 (電話 0824-73-1165)

